

平成 29 年 1 月 18 日

話 題 事 項

平成 29 年 1 月 16 日

資 料 提 供 済

☆初開催☆

南海トラフ地震からの「事前復興計画」策定に向けた統一手法研究会

南海トラフ地震は、今後30年以内に70%程度の確率で発生すると予測されており、発生すれば極めて甚大な被害が想定されます。

和歌山県では、被災後の復旧・復興の遅れが県民の再建気力の喪失や、地域経済の停滞による地域活力の喪失に繋がるおそれがあることから、迅速な復興で、まちが生きかえることができるよう、事前の備えとして、市町村において「事前復興計画」の策定を進めていくための統一手法の検討を行っています。

この統一手法の検討にあたり、東日本大震災の被災地における復興まちづくりの状況等を踏まえた実務的な意見をいただくために、本研究会を開催します。

○日時 **平成29年1月19日（木）** 13:30～15:30

○場所 和歌山県庁南別館2階 災害対策本部室（和歌山市湊通丁北一丁目2-1）

○議事 事前復興計画の策定について

○研究会委員

氏 名	略歴・所属・職名 等
石田 東生氏	筑波大学システム情報系社会工学域 教授 専門分野:交通計画、国土計画、都市計画 国土交通省「国土技術政策総合研究所研究評価委員会」委員長
田村 圭子氏	新潟大学危機管理本部危機管理室 教授 専門分野:危機管理、災害福祉 内閣府中央防災会議委員
渡部 英二氏	独立行政法人都市再生機構復興支援統括役 国土交通省「東日本復興CM方式の検証と今後の活用に向けた研究会」委員
白石 泰一氏	一般社団法人日本建設業連合会復旧・復興対策特別委員会復興まちづくり部会幹事長 国土交通省「東日本復興CM方式の検証と今後の活用に向けた研究会」委員

※オブザーバーとして、復興庁、農林水産省、国土交通省に出席を要請

担当課	防災企画課
担当者	片家・石井
電 話	073-441-2271